

グローバルサプライチェーンにおいて 最も選ばれるソリューションプロバイダを めざして

日立物流グループは、2022年4月、新たな中期経営計画「LOGISTEED2024」を公表しました。「DX・LT・現場力でグローバルなサプライチェーン戦略パートナーへ」をスローガンに、「アジア圏3PL[※]リーディングカンパニー」をめざしていきます。

経営環境の認識

日本国内の少子高齢化を背景とした労働力不足、新型コロナウイルス感染拡大、地政学的リスクの顕在化、気候変動、業界の垣根を超えた競争激化等、さまざまな経営環境の変化に直面しています。



取り組むべき方向性

直面する経営環境の変化に対応すべく、グローバルサプライチェーンの維持・強靱化のため、IoT・AI・ロボティクス・DXによるイノベーションで課題解決を図り、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組んでいきます。



マテリアリティ見直し・注力分野 企業価値向上に向け、 取り組むべき重要課題

注力分野 → P29

- 脱炭素・循環型社会への貢献
- 強靱で持続可能な物流サービスの構築・進化
- 協創による新たな価値の創出
(注力分野を支える基盤)

※ 3rd Party Logistics

中期経営計画 LOGISTEED2024

アジア圏3PL リーディングカンパニーへ

重点施策 → P29-38

- 海外事業の強化・拡大
(アジア圏3PLリーディングカンパニーへ)
- 新たな付加価値による事業領域の拡張
(LOGISTEEDの加速)
- スマートロジスティクスの進化
- ESG経営の基盤強化

重点施策の実行により、事業の盤石化とグローバル展開をすすめ、「アジア圏3PLリーディングカンパニー」を実現し、そして、その先にある、**グローバルサプライチェーンにおいて最も選ばれるソリューションプロバイダ**をめざしていきます。